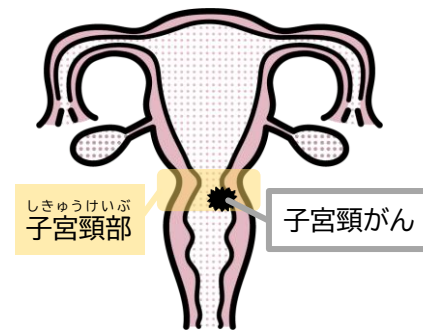


■子宮頸がんってどんな病気？

子宮頸がんは、女性なら誰でもかかる可能性のある病気。子宮の入り口にできるがんで、原因やがんになる過程がほぼ解明されており、予防する手段があります。実は、20～30歳代の若い女性に多く、近年では、39歳以下の日本人女性で、子宮頸がんの発病や死亡が増えています。



■原因はなに？

子宮頸がんの発症には、その多くにヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が関連しているとされています。HPVはごくありふれたウイルスで、約80%の女性が生涯のうち一度は感染するとされています。また、感染しても自然に治る人がほとんどです。しかし、一部の人で持続感染し、「前がん病変」になり、さらにその一部ががんに進行します。HPVの主な感染経路は性交渉と考えられています。

■予防したい！

検診とワクチンで予防が期待できます。

子宮頸がん予防ワクチンはすべてのHPVの感染を防ぐことができるわけではありません。子宮頸がんを防ぐためには、2年に1回の検診を受けることが大切です。

実際の検診の流れ

1.問診

問診票から、月経の状況、妊娠・出産経験の有無などを確認します。

2.内視診

子宮頸部やおりものの状態を目で見確認します。また、おなかを押して子宮の形や大きさを確認します。

3.細胞診

やわらかいブラシで子宮頸部をやさしく擦り、細胞を採取します。まれに出血することがありますが、痛みはほとんどありません。

…検診終了…

検診にかかる時間は45分～60分程度です。

結果は約1か月半後に郵送します。

